

## 公民館美術展を開催

常北公民館、桂公民館、七会公民館

平成21年度公民館美術展が11月に各公民館で開催され、幼稚園、保育所(園)、小・中学校及び一般の方の作品、また公民館講座や文化協会各部の作品が展示されました。例年にも増して質の高い作品が揃い、訪れた方々を楽しませました。



◀七会公民館



▲桂公民館



◀常北公民館

## 「ふれあいの里」「うぐいすの里」「山びこの郷」の平成22年度予約受付を2月1日(月)から開始します!

城里町総合野外活動センター 「ふれあいの里」	城里町総合野外活動センター 「うぐいすの里」	城里町総合野外活動センター 「山びこの郷」
城里町大字上入野4384 予約・問合せ ☎029-288-5505	城里町大字錫高野2391 予約・問合せ ☎029-289-4321	城里町大字徳蔵399 予約・問合せ ☎0296-88-3157

### 俳句

冬ざるる海岸道路砂まみれ 飯田 勇一  
露霜に靴ぬらし行く散歩かな 山崎 正行  
衝撃の喪中の葉書菊を焚く 今瀬多代美  
暖冬や蠅一匹の煩い日 いそべきよ  
今を飛ぶ昆虫達に秋光り 中野千賀子  
保存食も並べ安堵の冬構え 森 静江  
冬田道工事中なり廻り道 田所 厚子  
銀杏散る真ん中に居て楽しかり 飯村 昭子

### 文芸しるさと

### 短歌

息子は笑みつつ「寂しい短歌は詠むなよ」とされど浮かび来減りゆく残生 佐川 あや  
天声人語の記者は歌詩への心得あるご人とお見受けす朝を繕く 杉山みちこ  
夢にだに見ることもなき行爲にて息らに連れられ女体山上に立つ 宮本ふみ江  
秋の日の一日たいらからイチジクを挽ぐ夫の手より乳のながるる 所 美恵子  
厨辺は「栗、茄子、大根」籠に満つ秋の寂しき心の親しさ 青柳 京子  
手触れつつ話しかけつつ鉢花に水をかけやる朝のひとつとき 渡辺千紗子

冬ぬくし社参りの割子蕎麦 仲田まちゑ  
白鳥の着水風に押されけり 高橋 芦江  
白鳥の声つつ抜けに湖晴る 鯉淵寿美恵  
運動会少しさがって玉放つ 竹内 幸子  
蕎麦畑実入り少なく刈り取られ 高山 ヒサ  
佐保姫やどこへ行くにも五人づれ 瀬谷 博子  
厚落葉休園中の大銀杏 岩下 金司  
優美なる白鷺は瀬に冬の川 田口 勝元  
宮島や鹿とたわむれ秋の空 東見登美子

世界遺産「月華巖島」名画展床下の海に灯り写る絵 秋山 愛子  
「では又ね」の後の静まり孫からの「切っ」と言われ受話器をおきぬ 山形 式妙  
ふるさとの紅葉見ずして逝きし義姉余韻のやうに木犀匂ふ 大森 久子  
西山の紅葉染めて足早に初冬の太陽雲の中に沈む 阿良山ウメノ  
八十路越え変わる未来を考える昔の苦勞茶飲みの友と 若下美智野  
妹の土産にくれし袖浮かべ香ぐわしき湯に体温める 鶴田 すが  
減反の今も落穂を拾う我もの乏しいときに育ちて 菌部 光子  
雲眺めしばしたたずむ合間にも冷たき風の我が身にしみる 富田 欽子

### 川柳

里山へ秋風紅葉置いてゆく 青木新三郎  
ベランダに眠る子猫や陽のにおい 富田 多蔵  
早師走齡忘れて忘年会 仲田 こう  
菊の花寒さにたへて朝香る 市川 義子  
ジャズ歌うでっかい心でかい腹 永井 英陽  
サンタさんエコカーに乗りやってくる 中島 芳春  
齡重ね返すと決めた免許証 山本 隆莊

山やまは色づき初めて落人の里ひそやかに秋の到来 枝 不美  
秋の日は暮引く如くに暮れゆきぬ淋しがりの母を顕たせて 片見 和枝  
雲ひとつ無き金色の夕まぐれ西方浄土のみ仏思ふ 川上千代子  
逝く秋を惜しみ尋い来ぬ信濃路の紅葉の錦谷に散り行く 島 愛子  
ふわふわと丸き「コキア」の紅葉せる丘にふれ来ぬわが誕生日 多田志保子  
八十路越し短歌の会に行ける吾やさしき仲間うれしく思う 坪井きよ子  
次々と熟る無花果挽ぎり食む朝な夕なスイーッタイム 萩谷登喜子  
深く朱に輝きて散る紅葉来る春に繋ぐ命の彩よ 富田佐智子